

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月26日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市西区北幸二丁目9番14号

氏名 相鉄ローゼン株式会社
代表取締役社長 長谷川 正昭

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	相鉄ローゼン株式会社（代表取締役社長 長谷川 正昭）				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市西区北幸二丁目9番14号				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	56 各種商品小売業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	7,826	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

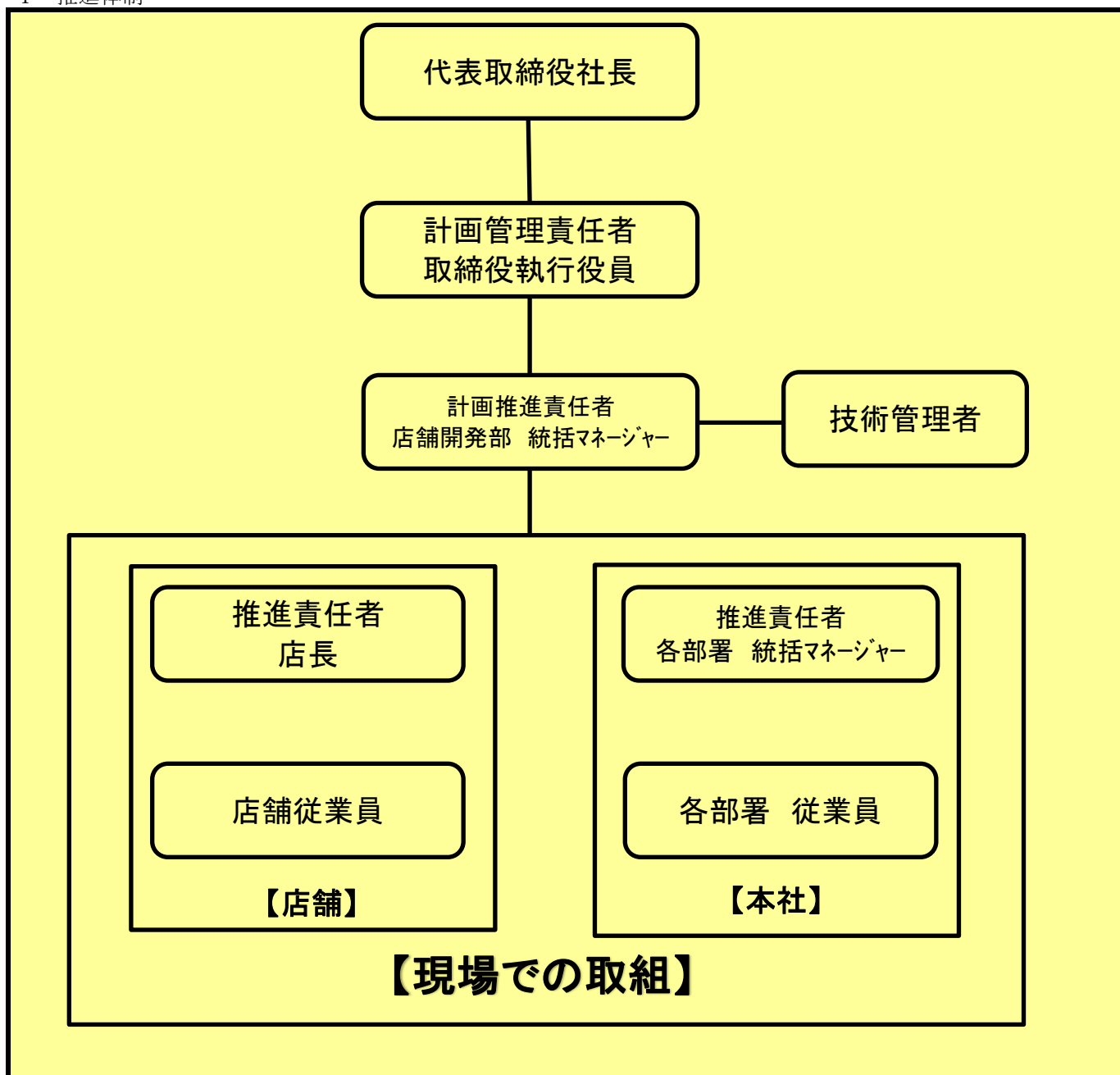
地域のお客様の生活に密着した事業を通じて社会に貢献することが会社の経営理念の柱であり、温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針は、「地球温暖化を防止し、限りある資源を大切にするために、省エネとリサイクル活動を推進する」ことである。

具体的には、

1. 各設備の無駄のない運用管理により、エネルギー使用量を最小とする。
2. 運用管理の毎月定期的なチェックにより継続を図る。
3. 機器の更新、改造による省エネ対策を実施し、エネルギー使用量の削減を図る。

設備更新に関しては、エネルギー使用量の割合が高い電気設備の中から、照明設備を重点対策項目として、天井照明のLED化等の高効率器具へ更新を進めていく。（平成28～30年度）

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	相鉄ローゼン株式会社 本社
	所在地	横浜市西区北幸二丁目9番14号 相鉄本社ビル4階
	閲覧可能時間	平日（月曜日から金曜日） 9時30分から18時20分まで
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	15,414	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	15,149	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	14,978	t-CO ₂	削減率	2.8 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>目標設定の前提条件として、電気使用量削減による店舗照明のLED化</p> <p>削減要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本照明器具のLED化することによる削減。 照明設備、空調設備の運用管理の徹底による削減。 								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	15,545	t-CO ₂	削減率	▲ 0.9 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	15,129	t-CO ₂	削減率	0.1 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	<p>削減目標である基本照明のLED化計画を実施し、平成28年度は3店舗のLED化工事を完了した。冷凍機設備に関しては冷食・アイスクースのリーチイン化を1店舗にて実施した。27年度にも5店舗のLED化を実施しており排出量の削減が期待できましたが、売上げが好調に推移しており既存店売上前年比達成を毎月更新している状況の為、各事業所ではお客様には快適なお買い物をして頂くため、機器稼働率が上昇し使用量が増加し未達成となった。今後は、設備更新や電力の無駄な使用の削減を徹底し、目標達成に向け取り組みます。</p>								
第二年度 (2017年度)	排出量	15,361	t-CO ₂	削減率	0.3 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	14,452	t-CO ₂	削減率	4.6 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度までのLED化実施の効果もあり、目標値を達成した。 運用面では、照明設備・空調設備の運用管理を徹底し、電力の無駄な使用の削減を行った。 								
第三年度 (2018年度)	排出量	15,320	t-CO ₂	削減率	0.6 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	14,097	t-CO ₂	削減率	6.9 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> 運用面で、照明設備・空調設備の運用管理を徹底し、電力の無駄な使用の削減を行った。 								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化店舗の閉鎖・新店舗の開店があり、設備機器の省エネ化が進み削減できたことが要因の一つ。 運用面では、照明設備・空調設備の運用管理を徹底した事により削減となった。 								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満	1	1,046	1	1,027	1	1,037		
500k l 未満	28	14,368	27	14,518	28	14,324	28	15,320
合計	29	15,414	28	15,545	29	15,361	28	15,320

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	28/28	—	年度			実施済	29/29	—	年度			実施済	28/28	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	28/28	—	年度			実施済	29/29	—	年度			実施済	28/28	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	2/28	—	2018年度		未完成の為、継続し作成します。	実施中	2/29	—	2018年度		未完成の為、継続し作成します。	実施中	2/28	—	2021年度		未完成の為、継続し作成します。
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	2/28	—	2018年度		台帳未完成の為、継続し作成します。	実施中	2/29	—	2018年度		台帳未完成の為、継続し作成します。	実施中	2/28	—	2021年度		台帳未完成の為、継続し作成します。
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし	非該当	/	—	年度		オーナー所有設備のため管理権限なし
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	28/28	—	年度			実施済	29/29	—	年度			実施済	28/28	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	/	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	/	—	年度		該当する設備はありません。
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	25/28	—	2018年度		28年度に3店舗LED化実施。	実施中	25/29	—	2018年度		28年度に3店舗LED化実施。	実施中	25/28	—	2021年度		28年度に3店舗LED化実施。
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	28/28	—	年度			実施済	29/29	—	年度			実施済	28/28	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)冷温水発生器 0/2	—	2018年度		現在はCOP算出する為の設備がなく、メーカーに確認中です。	実施中	(設備の種類)冷温水発生器 0/2	—	2018年度		現在はCOP算出する為の設備がなく、メーカーに確認中です。	実施中	(設備の種類)冷温水発生器 0/2	—	2021年度		現在はCOP算出する為の設備がなく、メーカーに確認中です。
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)冷温水発生器 0/2	—	2018年度		メーカーに確認中です。	実施中	(設備の種類)冷温水発生器 0/2	—	2018年度		メーカーに確認中です。	実施中	(設備の種類)冷温水発生器 0/2	—	2021年度		メーカーに確認中です。
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。	非該当	(設備の種類) /	—	年度		該当する設備はありません。

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明	2016年度	3店舗で1917台（44.5kw）導入	37%削減（導入前121kw）
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	1,223	東京電力エナジーパートナー（株）
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	レジ袋の削減：有料化やマイバッグ持参の取組みを行い削減を図っている。 無駄なエネルギー使用量削減のため、各店舗ごとに毎月電力量削減に関する項目のチェックを実施。 店舗売場天井灯のLED照明導入、冷食・アイスケースのリーチインケースの導入し、電気使用量の削減を行っている。
計画期間内に実施する対策	店舗売場天井灯のLED照明を導入し、電気使用量の削減を図る。 売場レイアウト変更を行い、冷ケースの使用台数を見直し冷凍機稼働率削減を図る。
第一年度実績	水道については、節水コマの導入をしている為継続して節水を行っている。 レジ袋の有料化店舗においては、マイバッグ持参にご協力頂き温暖化防止対策を行っている。 リサイクルの取り組みとして、牛乳パック・トレーの回収にご協力頂いている。
第二年度実績	毎月店舗ごとに電力使用量の管理を行い、使用量多い店舗へは原因究明と対策を行っている。 水道については、節水コマの導入をしている為継続して節水を行っている。 レジ袋の有料化店舗においては、マイバッグ持参にご協力頂き温暖化防止対策を行っている。 リサイクルの取り組みとして、牛乳パック・トレーの回収にご協力頂いている。
第三年度実績	毎月店舗ごとに電力使用量の管理を行い、使用量多い店舗へは原因究明と対策を行っている。 水道については、節水コマの導入をしている為継続して節水を行っている。 レジ袋の有料化店舗においては、マイバッグ持参にご協力頂き温暖化防止対策を行っている。 リサイクルの取り組みとして、牛乳パック・トレーの回収にご協力頂いている。

14 実施状況等に対する自己評価

電気・水道・ガスの使用量管理を徹底し、無駄な使用の削減を行った結果削減ができた。
--